

※本資料の吹き出しにおいて、各用語は次のように表記する。

- ・ S D G s 未来都市計画・・・計画
- ・ 自治体 S D G s モデル事業（または「特に注力する先導的取組」）・・・モデル事業等
- ・ 自治体 S D G s 推進評価・調査検討会・・・検討会

SDGs未来都市等進捗評価シート（案）

自治体名
2019年X月

都道府県名も記載してください。
(例：●●県●●市)


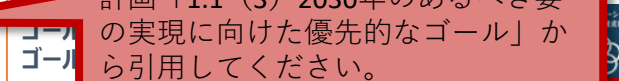

SDGs未来都市計画名	●●●●
自治体SDGsモデル事業名	●●●●

モデル事業等の事業名を記載してください。

1. 全体計画

計画タイトル	●●県●●市 SDGs未来都市計画
2030年のあるべき姿	●●●●●●

計画「1.1 (2) 2030年のあるべき姿」から引用してください。枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	経済	社会	環境
	ゴール8 ターゲット8.3 ゴール9 ターゲット9.4、9.b 	ゴール10 ターゲット10.4、10.c ゴール11 ターゲット11.3、11.7、11.b 	ゴール7 ターゲット7.2、7.3、7.a ゴール11 ターゲット11.3、11.7、11.b 

計画「1.1 (3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール」から引用してください。

優先的なゴール、ターゲットに関するKPI

#	指標名	当初値	2030年	
1	地域経済牽引事業の新規事業件数（又は類する事業）	2017年12月：0件	2030年：7件	XXXXXX
2	先端設備等導入計画の認定件数（又は類する事業）	2018年6月：0件	2030年：12件	XXXXXX
3	「住民参加」「情報共有」の満足度（100点満点中）	2015年度：47点	2030年：70点	XXXXXX
4	「連携によるまちづくり」の満足度	2015年：50点	2030年：75点	XXXXXX
5	温室効果ガス総排出量（CO2換算）	2015年度：62,327 t-CO2	2030年：25,781 t-CO2	XXXXXX
6	地域での生活を象徴する生活空間の形成	2018年6月：0件	2030年：1件	XXXXXX

各KPIについて、進捗状況や課題等を記載してください。
【進捗状況について】
 設定したKPIの進捗状況を定量的に把握している場合は数値を、そうでない場合は定性的なコメントやKPIに近い補助指標等に基づく数値を記入してください。
【課題】
 上記の進捗状況を踏まえ、2030年のゴールを引き続き目指すにあたっての取組課題や対応策等を記載してください。

計画「1.2 (2) 自治体SDGsの情報発信・普及啓発策」に基づき、取組状況や、課題と対応策等について記載してください。
 また、国際社会への貢献・情報発信がある場合は記載してください。

行政体内部の推進体制 ■ 各種計画への反映状況や課題 ●○○○○ 計画「1.3 (1) 各種計画への反映状況」に基づき、各種計画（総合計画、環境基本計画等）への反映の有無や反映する内容、今後の予定等について記載してください。	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題 ●○○○○
行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ ●○○○○ 計画「1.3 (2) 行政体内部の執行体制」に基づき、SDGs未来都市計画を推進するための組織体制や、首長の役割について、その目的や内容等を踏まえて記載してください。 （例：庁内の横断的・統合的なSDGs推進のため、首長直轄の●●本部を創設、域内外のステークホルダーへの協力を呼びかけるため、首長による●●宣言を採択）	
ステークホルダーとの連携 ●○○○○ 計画「1.3 (3) ステークホルダーとの連携」で整理した「域内の連携」「自治体間の連携（国内）」、及び実施している場合は「国際的な連携」を記載してください。	地方創生・地域活性化への貢献 ●○○○○ 計画「1.1 (1) 地域の実態」で整理した「今後取り組む課題」の解決に、SDGs未来都市計画がどのように貢献するかを記載してください。 その際、自治体SDGs推進評価・調査検討会が作成した「自治体によるSDGsの取組の評価の視点」の「4 具体的な事業推進の視点」を参考としてください。

有識者からの取組に対する評価 ●○○○○ 記載不要です。 後日、検討会による進捗評価を記載し、公表いたします。
--

1. 全体計画

自治体SDGsの
推進に資する
取組の
2020年のKPI

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
(1) 地域連携による雇用創出及び人材育成の取組	8.3	「まち・ひと・しごと」マッチングプラン推進事業による年間就業者数	2017年度：13人	XXXX	2020年：15人	80%	XXXXXX
(2) 農地の再編整備を進め、農畜産物のブランド化を進める取組	9.4 9.B	道の駅の直売所でのエコ町産農産物の売上	2017年度：294百万円	XXXX	2020年：311百万円	50%	XXXXXX
(3) まちづくり基本条例に位置づけた「住民参加」「情報共有」の満足度	16.6	「住民参加」「情報共有」の満足度	2015年度：47点	XXXX	2020年：60点	70%	XXXXXX
	17.17	「連携によるまちづくり」の満足度	2015年度：50点	XXXX	2020年：60点	20%	XXXXXX
(4) 3重点分野の取組を中心に環境モデル都市アクションプランを推進	7.2 7.3 7.A	温室効果ガス総排出(CO2換算)	2015年度：62,327 t-CO2	XXXX	2020年：48,972 t-CO2	60%	XXXXXX
	11.3 11.7 11.b	象徴的新庁舎(ZEBReady)の建設	2018年度：0件	XXXX	2020年：1件	55%	XXXXXX

取組数が多い場合は、適宜行を追加して構いません。

計画「1.2 (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の概要」から引用してください。

2018年における数値を記載してください。2018年の数値を未把握の場合は、把握可能な直近の数字と年次を記載してください。

左記のKPIの達成度に関して、進捗した具体的取組内容や、2020年の目標達成に向けた取組課題や対応策等を記載してください。また、設定したKPIだけでは達成度を適切に表せない進捗や、0%か100%のみで表現される指標（例：〇〇の実施の有無）等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

○達成度の計算方法

1. 計算式は以下を基本とします

○達成度の計算式（基本式）

$$\frac{\text{現状値} - \text{当初値}}{\text{目標値} - \text{当初値}}$$

2. 基本式で計算できないKPI（人口、空家数など維持を目標とするKPI等）がある場合は、別の計算式を用いても構いません。その場合、「進捗状況や課題等」欄に使用した計算式を記入してください。

※枠外（右側）の表に数値を入れることで、グラフは自動的に更新されます。

※参考 基本式で計算できない達成度の計算の対応例

例1. 人口
(現状値1,000人、目標値1000人)

$$\frac{\text{現状値}}{\text{目標値}}$$

の計算式を使用

例2. 新庁舎の建設
(現状値0件、目標値1件)

実施設計が完了したため、50%の達成度とする。

2. 自治体SDGs推進モデル事業

自治体SDGs推進モデル事業名 ●●●●事業

モデル事業の概要 ●●●●●●
 計画「2（1）課題・目標設定と取組の概要」から引用してください。
 枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)	取組内容	当該年度の取組状況の評価と今後の課題
1 観光目的税の導入検討・実施事業 2 創業支援・企業進出支援事業 3 水道等、基礎的インフラの整備	8.3 9.4 9.B	①新設事業所数	2018年4月：0件	XXXX	2020年：20件	80%	【取組内容】XXXXXX 【事業費等】事業費：XXXX千円	XXXXXX
1 住宅不足解消対策として、集合住宅建設時の固定資産税減免対策 2 ローカルスマート交通構築事業 3 情報共有・住民参加を基にした新たな自治活動の展開 4 防災対策の拠点となる防災センターの整備（新庁舎と一体整備）	11.3 11.7 11.B 16.6 17.17	①集合住宅建設時の町独自固定資産税減免対象件数 ②地域運営組織の検討・導入	2018年4月：0戸	XXXX	2020年：8戸	50%	【取組内容】XXXXXX 【事業費等】事業費：XXXX千円	XXXXXX
1 駅前への面的地域熱供給の導入事業 2 環境に配慮した個別・集合住宅の建設促進事業 3 環境配慮型象徴的新庁舎の建設	7.1 7.3	①環境負荷低減モデル集合住宅整備促進補助事業の年間申請件数	2018年4月：0戸/年	XXXX	2020年：15戸/年	20%	【取組内容】XXXXXX 【事業費等】事業費：XXXX千円	XXXXXX

三側面ごとの取組・事業とKPI（2020年）

計画「2.（2）3側面の取組」から引用してください。

2018年における数値を記載してください。
 2018年の数値を未把握の場合は、把握可能な直近の数字と年次を記載してください。

枠外（右側）の表に数値を入れることで、グラフは自動的に更新されます。
 ※達成度については2p「全体計画」と同様の計算方法です。

今年度に進捗した具体の取組内容等を記載してください。

左記のKPIの達成度に関するコメントや2020年の目標達成に向けた取組課題や対応策等を記載してください。
 また、設定したKPIだけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、KPIに近い補助指標等を用いて説明してください。

2. 自治体SDGs推進モデル事業

三側面をつなぐ
統合的取組
(自治体
SDGs補助金
対象事業)

取組
内容
2018
年

当該年度の
取組状況の
評価と
今後の課題

三側面をつなぐ
統合的取組
による相乗効果

(1)

●●●事業
○○○○

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」から引用してください。
枠内に収まらない場合等には、要約して記載してください。また、複数の取組に分けた
方がわかりやすい場合には、枠を分割してそれぞれ記載してください。(以下「取組内
容」「当該年度の取組状況の評価」も同様です。)

【取組内容】
XXXXXX

【事業費等】
事業費：XXXX千円

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」に基づき、2018年度に進捗した取組内
容等を記載してください。

●○○○○

計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」に基づき、2018年度の取組の進捗状況
や、「2. (7) スケジュール」も踏まえた今後の取組課題や対応策等を記載してくださ
い。

経済⇄環境	経済⇄社会	社会⇄環境
●○○○○	●○○○○	●○○○○
<p>計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」の「②3側面をつなぐ統合的取組による 相乗効果」に基づき、相乗効果の創出状況等やトレードオフ問題の緩和状況、設定した K P I だけでは表せない進捗等があれば、定性的なコメントや、K P I に近い補助指 標等を用いて説明してください。</p> <p>計画「2. (3) 3側面をつなぐ統合的取組の概要」の「②3側面をつなぐ統合的取組による 相乗効果」から引用してください。</p>		

#	指標名	当初値	2018年	2020年	達成度 (%)
1	新設集合住宅	2018年4月： 0棟	XXXX	10棟	80%
2	温室効果ガス総排出量 (CO2換算)	2015年度： 62,327 t-CO2	XXXX	48,972 t-CO2	50%
3	総人口 (住民基本台帳)	2018年1月： 5,227人	XXXX	5,287人	25%
4	平成27年度からの住宅整備戸数	2018年2月： 133戸	XXXX	250戸	90%
5	エコポイント制度参加者	2018年3月： 5件	XXXX	60件	70%
6	総人口 (住民基本台帳)	2018年1月： 5,227人	XXXX	5,287人	40%

自律的好循環に向けた取組状況・その他関連した成果

●○○○○

計画「2. (5) 自律的好循環」に基づき、取組の進捗
状況等について記載してください。

ステークホルダーとの連携状況

●○○○○

計画「2. (4) ステークホルダーとの連携」に基づ
き、取組の進捗状況等について記載してください。

自治体SDGsモデル事業の普及展開状況

●○○○○

計画「2. (6) 普及展開策」に基づき、取組の進捗状
況等について記載してください。

有識者からの取組に対する評価

●○○○○

記載不要です。
後日、検討会による進捗評価を記載し、
公表いたします。